

平成29年度「女性が輝く先進企業表彰」にて 「内閣府特命担当大臣賞」を受賞

積水ハウス株式会社は、このたび平成29年度「女性が輝く先進企業表彰」において「内閣府特命担当大臣賞」を受賞いたしました。建設業界では初めての受賞になります。

「女性が輝く先進企業表彰」は、内閣府が女性が活躍できる職場環境の整備を推進するため、役員・管理職への女性の登用に関する方針、取り組み及び実績、並びにそれらの情報開示において顕著な功績があった企業を表彰するもので、「女性が輝く社会」の実現に寄与することを目的とした制度で、今年が4回目となります。

女性が輝く先進企業表彰「内閣府特命担当大臣賞」 評価ポイント

- 経営戦略として、女性活躍を始めとした人材戦略を実施
- 女性用仮設トイレの開発・商品化にて現場環境を改善し、建設業界全体における女性の現場進出を牽引
- 女性の進出が少ない建設業分野において、グループ全体で女性役員、女性管理職登用を拡大（女性役員2013年0人→2017年2人、女性管理職 2013年1.6%→2017年2.8%）
- 両立支援としてIT技術を活用した働き方改革を推進し、在宅勤務を制度化。また男性の育児休暇を支援（男性正社員の育児休業取得率70.7%）

積水ハウスでは、住宅を通して社会課題を解決するというビジョンの実現に向け、女性の活躍を重要な経営戦略と位置付けています。2006年に人事基本方針として「人材サステナビリティ」を宣言し、「女性の活躍推進」「多様な人材の活躍」「ワーク・ライフ・バランスの推進」を柱としてサステナブルな成長が図れるよう推進してきました。同年「女性活躍推進グループ」を発足、2014年には経営企画部に「ダイバーシティ推進室」を設置し、女性の活躍推進を経営課題ととらえ、さらに強化しました。そして、「女性のキャリア促進」「両立サポート」「働き方改革」の3つの観点で全員を当事者とする取り組みを加速させています。

その結果、2017年には4度目の「なでしこ銘柄」（経済産業省・東京証券取引所が共同実施）に選定されるとともに、「新・ダイバーシティ経営企業100選」（経済産業省主催）も受賞しました。

これらの女性活躍推進の取り組みは、IT技術などを活用した生産性向上や在宅勤務などの柔軟な働き方にも繋がっています。積水ハウスグループの根本哲学「人間愛」を元に、全ての多様な人材が活躍できる働き方改革「わくわくドキドキ心躍る職場づくり」の取り組みを推進し、女性の活躍、育児・介護の両立支援などのダイバーシティ推進に一層取り組み、人間性豊かな住まいと環境の創造を進めてまいります。



前列中央：安倍首相 右から二人目：野田内閣府特命担当大臣
後列左から二人目：積水ハウス社長・阿部俊則

※ 積水ハウスのダイバーシティの取り組み <http://www.sekisuihouse.co.jp/company/diversity/>